2013 年 5 月 29 日

各 位

会 社 名　株式会社 資 生 堂
代表者名　代表取締役会長 兼 執行役員社長
前田 新造
（コード番号 4911 東証第 1 部）
問合せ先　広報部長 斉藤 幸博
（TEL. 03-3572-5111）

資生堂、毛髪再生医療の本格研究に着手

カナダのバイオベンチャー企業 〝レプリセル社〟 と技術提携契約について基本合意

（本情報は、日本時間 5 月 29 日（水）午前 1:00 にカナダにおいてレプリセル社より発表された内容にもとづき、日本においても開示するものです。）

資生堂は、2013 年 5 月 16 日（木）、カナダのバイオベンチャー企業 RepliCel Life Sciences Inc.（以下、レプリセル社）の「毛髪再生医療技術（RCH-01）」導入に関し、人口 21 億人を擁する日本を含むアジア全域を対象とした技術提携契約について同社と基本合意しました。資生堂はレプリセル社に対して契約金として 4 億円を支払います。

今後、資生堂はレプリセル社の毛髪再生医療技術と当社の技術を組み合わせ、専門医とも連携することで、脱毛症や薄毛に悩む方々に美容と医療を融合した安全で有効な毛髪再生医療の事業化を 5 年をめどにめざします。

今回、導入するレプリセル社の毛髪再生医療技術

今回、資生堂が導入するレプリセル社の技術は、レプリセル社が 10 年以上におよぶ基礎研究や臨床研究を経て、安全性が担保された世界最先端の毛髪再生・特許技術です。患者（脱毛症や薄毛に悩む方）の頭皮から採取した特定の細胞※1 を培養した後、脱毛部位に移植（注入）、脱毛部位の損傷した毛包※2 を再活性化させ脱毛部位の健康な毛髪の成長を促す「自家細胞移植技術」です。

＜具体的な方法＞

- 脱毛患者の後頭部（有毛部）から約 20 個の毛包を含む頭皮（直径 5 ㎜前後の円形）を切除する。
- 特定の細胞だけを取り出し、レプリセル社が開発した細胞培養プロセスで培養した後、患者の脱毛部位に注入（自家細胞移植）し、脱毛部位における健康な頭髪の成長を促進し、脱毛や薄毛を改善する。

＜今回、導入する技術の特徴＞

①植毛のように広範な頭皮の切除は不要なため、外科施術における身体的負担が小さい
②患者自身の細胞を移植するため、リアクション（移植後の拒絶反応など）のリスクが小さい
③育毛料と比べ、一度の施術で効果の持続が期待できる。
④男女問わず応用が期待できる

※1 底部毛根鞘細胞と呼ばれる細胞で、毛髪の成長に重要な役割をする毛乳頭細胞の元になると考えられている。

※2 毛穴より下にある髪の毛を取り囲む組織。髪を成長させる元になる様々な細胞組織から構成され、毛髪を支えている部分。

脱毛・薄毛対応ソリューションの現状

脱毛症や薄毛関連の市場は、植毛やかつら、育毛サポート、育毛料（医薬品、医薬部外品）など、国内だけでも 2000 億円程度の市場規模にのぼると推計※3されています。

また、近年では医療機関において、男性ホルモン抑制効果がある経口治療薬が実用化されているほか、毛髪細胞に対する成長因子の頭皮への注入など新しい技術開発も試みられています。一方、女性ではこの経口治療薬が適用できないといった問題も抱えています。

※3 2012 年矢野経済研究所

再生医療とは何か

再生医療とは既存の治療法では対応できない疾患に対して、ヒト由来の組織・細胞を移植して、自己再生能力により治療する方法で、患者自身の細胞を用いる“自家細胞移植”と、他人の細胞を用いる“他家細胞移植”の大きく 2 タイプがあります。今回、当社がレプリセル社から導入するのも免疫拒絶などの副作用や安全性面から現在主流となっている、自家細胞移植の技術です。

現在、国内の再生医療の市場規模は 90 億円程度といわれていますが、経済産業省の研究会は2050 年には 278 倍の 2.5 兆円の規模になると予測しています。現在、国会では、政府の「成長戦略」のひとつである医療分野において、再生医療の発展に向けた法律の制定や、医療機器の審査・上市を今より早める薬事法の改正について審議が進められており、資生堂も極めて高い成長が見込まれるこの分野に本格的に参入します。

資生堂と育毛・発毛との関わり

資生堂は、日本初の洋風調剤薬局として1872年（明治5年）に創業されました。1898年には「香油花つばき」を、1915年にはヘアトニック「フローリン」を発売するなど、薬学のオリジンを武器に、その創成期から頭髪、毛髪研究にも取組んできました。1982年には「薬用不老林」、2005年には生体関連成分アデノシンを配合した「薬用アデノゲン」を発売したほか、「ザ・ヘアケア アデノバイタル スカルプエッセンス」がアジアー円で2011年2月の発売から1年半で100万本※4を超える売上を記録する大ヒットとなるなど、近年では頭皮や毛髪について遺伝子や細胞レベルからの研究を行っており当社強みのひとつとなっています。

※4 出荷ベース

レプリセル社について

会社名： RepliCel Life Sciences Inc. （レプリセル ライフ サイエンス社）
www.replicel.com
所在地： カナダ、バンクーバー市
資本金： 21,158 カナダドル（2012 年 12 月 31 日現在）
代表者： David Hall, President, CEO and Director
事業概要： 再生医療の研究開発。毛髪および腱の再生医療（細胞医療）の研究開発ベンチャー企業で、研究開発した成果を事業会社にライセンスで提供することを目的としている。レプリセル社自身は研究に特化し、当該領域で事業運営はしない。
設立： 2011 年に現在の社名と事業内容に変更されたが、1967 年設立のニューキャッスル社が起源

本件が 2014 年 3 月期の当社業績に与える影響は軽微ですが、本件による技術提携は将来的に当社の業績向上に寄与するものと考えております。

以上